

第 54 期中央労働講座に参加して

関東地方横浜支部
執行委員 猪狩慎弥

今回私は、中央労働講座に始めて参加させていただき
初日より鈴木龍一副執行委員長より「メンタルヘルス対策」、2 日目は鈴木誠一中央執行委員長より「全国港湾の成り立ち」、畠山副執行委員長より「港湾運送事業法」・「港湾労働法」、3 日目に橋崎副執行委員長より「詫間港運闘争から学んだ団結の必要性」の講義を受け大変内容の濃い 3 日間を過ごせたと思います。

1 日目のメンタルヘルス対策では、分会・職場内でのコミュニケーションの大切さ、労働組合として賃金・労働条件だけではなく、精神的にどう仲間を助けられるのかを自身の職場内でも離職者がでた経験があり深く考えさせられました。

2 日目の全国港湾の成り立ち・港湾運送事業、港湾労働法では、今ある職場環境が当たり前のものでなく、歴史を学び、なぜ法律などが作られたのかなど背景も学ぶことができたと共に、自分自身の意識の低さや勉強不足に反省をしなければならぬと感じました。

最終日の詫間港運闘争から学んだ団結の必要性では、ユニオンショップ協定の注意点と職場討議の重要性・団結の大切さを学びました。

各講義後にグループ協議を行い皆さんから意見や実体験などを聞かせて頂き、改めて経験はもちろん知識と経験不足を実感してしまいましたが、これからの自分の活動に対して意識を高めていきたいと思いました。その中でも自分がすぐに取り組めることとして、分会ひとりひとりのコミュニケーションを丁寧に大切にしながら自分が学んだことや活動したこと感じたことを分会へきちんと報告し、職場討議しながら団結をしていきたいと思っています。